

# NEWS LETTER

株式会社人財アジア 定期ニュースレター

vol.24

岡村の最近の注目ニュース  ビジネス予備校近況レポート  B-EAT 会活動報告  What's up?

2022年11月

# 2022/11

いつ始めても  
遅すぎることはない。

## 世界随所で金融市場混乱の 火種がくすぶりヒヤヒヤしているが、 浮足立っても意味がない。

EAT福岡クラスにおける澤上篤人氏の“経済が混乱しても人々の生活は続いていく・・  
飯も食えば風呂にも入る。音楽も聴くだろう。あなたが本当に必要とするものは何か？”  
との投げかけを思い出しながら、やりたいこと、すべきことを粛々と成している。

### 学ぶことも、多くのみなさんにとって欠かせないルーチンなのではないか。

#### やや泥縄的にも感じるが、混乱をきっかけに学び始め、習慣化するならそれも良い。

EATは、“一年間でグローバル・ビジネスパーソンに生まれかわる！”を標榜し、2015年東京、17年福岡にて開講以来、実学にこだわってきた。“大きくしない”が経営方針だが、一人ひとりのお顔が鮮明に思い浮かぶ現役+卒業生270名が、四半期に一度の勉強会で同じ顔を見せてくれるのが大きな幸せだ。しばらく見てないあなたには、そろそろメール差し上げよう。

そんな私たち人財アジアは、北海道クラスへの展開を意識し、先日、札幌豊平館にて初の公開セミナーを実施した。起業家、地場中堅企業、全国区大企業等20数名が集まり、思いがけない盛況に驚き感謝した。

#### なぜ北海道なのか？

一つは、ネットの普及効果だ。物理的な距離を超えて人と人が繋がり、情報が集約されるようになった。コロナ禍でのリモート勤務一般化により、さらに拠点間の連携が容易になったとの声を複数企業から聞く。広大な土地に凝縮された情報が加わり、大きな発展の知恵が生み出されていくのではないか。もう一つは温暖化の進行だ。よく言われる温暖化効果に加えて、流氷が解けることで輸送経路としての戦略的重要性が高まるのではないかと意識がある。福岡同様、今後仮説と検証を繰り返すことで、理解を深めていきたい。

#### なぜこんな話をシェアしたのか？

我々の生きる環境が刻々と変わっていくことを生徒の皆さんとシェアしたかったからだ。講師のクリストフ・クッチャー氏による“取り巻く環境も変わる。自分も変わる。だからこそ我々は変化に合わせて進化を続ける必要がある”という言葉覚えていたのだろうか。まさに環境変化に敏感でありたい。

また、いままさに私が体感し始めた“異なる二極の比較感”を、拙い感想から共有し、今後実況中継していきたいとの思いもある。福岡は小さな場所に多くのビジネスが集中しているコンパクトシティだ。街を歩いていると知り合いにばったり出くわすし、情報が口づてに伝わるスピードが速い。北海道は逆か。セミナー中にみなさんが揃って“我々のはのんびりしているんですよ～”という語りから悠長な時間の流れを感じる。

一見相反する2つの点を徐々に繋いでいくつもりだ。福岡クラス、そしていつかできるはずの北海道クラスの皆さんが、活発に本音の意見交換を始め、相互から学び合う日をいまから楽しみにしている。

本日お忙しい中ご寄稿くださった岡村さゆり氏は、不動産・建設と言う男性社会でいち早く役員に就任され、新たなる環境を切り拓いてきた方だ。環境変化に敏感であるのみならず、自ら環境を作り出す意欲と姿勢に多くを学ばされる。

## 企業で働くとはどういふことか

最近よく考えるテーマだ。社会情勢の目まぐるしい変化、価値観の多様化、技術革新、自然災害等々、私たちを取り巻く環境変化は速く、影響は大きい。雇用の変化も感じる。

加えて、コロナ過でコミュニケーションの取り方が急激に変化した。当社では、「いつでも、どこでも働ける」環境整備と働き方改革を進めてきた。コロナ過以前のリモートワークの歩みは遅かったが、コロナ過で「やらざるを得なく」なり一気に進んだ。功罪あるのだろうが、世界中が

新たなステージに進んだことは事実だろう。会社に行けば「いるのが当たり前」ではなくなった状況下で、あらためて「場の力」を考えさせられる。

コロナ過の働き方を経て思うのは、当面の業務に係るかどうかにかかわらず気軽に声をかけられる会話やその「場」が、価値観の共有や一体感の醸成等につながっていたのだろうかという

ことだ。また、当面必要とする事項以外の会話や「場」が、新たな価値創出や業務改善にもつながるように思う。昔に戻るのではなくどのように「場」をつくっていくか、企業の文化醸成や中長期的成長に欠かせないものと再認識し、課題の一つと考えている。

そのうえで「自ら機会を創り出し、機会をもって自らを変えよ」である。

私が入社した数十年前に既に当社で掲げられていた言葉だ。現在ほとんども好きな言葉の一つだが、以前は「良い言葉だが実践するのは難しい」と感じていた。

今も「実践は難しい」という印象は変わらない。特に、「自ら機会を創り出し」だ。意志と勇気のいずれも必要だ。そのうえで、覚悟と周囲の巻き込み力のようなものも必要か。自ら機会を創り出すことは難しいと感じるが、行動を起こす人は応援したい。強い意志をもっている人、勇気をもって挑む人を応援でき

る組織でありたい。一方で、主体性、意志はあるが巻き込み力の不得手な人も、「余計なお世話」で少しだけ背中を押すと長所が際立つかもしれない。「余計なお世話」をする人が多い組織でありたいとも思う。

### 人の成長スピードは個々に異なる。

いつ、どのような領域で、どのような形で花開くかは人それぞれ。時期や領域は違えども主体性があれば誰しも可能性もっている。ともに働く機会を得たのであれば、ともに働く中で花開く人を多く目にしたい。

企業は、人に活躍の場を提供し社会への価値提供を継続し、成長していくものだとする、理念に共感する人材が個々の「自分らしさ」を発揮し企業に属する「チーム感」を糧にして価値創出できる環境を育くむことが、前述の「場」の在り方とともに企業の文化醸成、中長期的成長に欠かせない要素の一つと考える。

最後に「機会をもって自らを変えよ」。人は変化を嫌う生き物だという。変化に対して消極的な気持ちになることもあるだろう。しかし、変化する機会を得られたことを楽しみ、変化、進化し成長に向かっているのではない。違った景色が見えたら、また次の変化につながる。

# 自ら機会を創り出し、機会によって自らを変えよ

株式会社コスモスイニシア  
取締役専務執行役員



岡村 さゆり 氏

## What's up?

### NHKの番組に出演し、多くの反響を頂きました

EAT卒業して6年経過していますが、常に「燃える気持ちがあるか」を自問自答しながら日々の業務に忙殺されています。卒業後に自分の職場である「建設現場」について、何か情報発信できないかと考えていましたが、先日偶然にもNHKの番組（有吉のお金発見 突撃！カネオくん）に出演し現場の建設技術の一部を紹介することができました。多くの方から反響を頂きましたので、これからもPRができればと思っています。



板屋 剛夫  
TAKEO ITAYA

EATビジネス予備校  
東京クラス（1期生）  
鹿島建設株式会社  
東京建築支店



## B-EAT

ビジネス予備校のOB/OGによる  
地域を超えた繋がり

### 異業種交流「リアル集合型」研修・懇親会を開催致しました

2022年10月7日（月）@学士会館にて

人財アジアの法人研修先を中心にお声かけし、過去一年間に三度、ZOOMにて「次世代マネジメントの在り方」につき議論してきました。その集大成としてのリアルな集いです。日本人のみならず、インドネシア、ミャンマー、中国、韓国と参加者の国籍は多彩、東京のみならず福岡など地方からも参加。



みなで「真のダイバーシティとは？」をとおことん議論しました。多くの日本人がダイバーシティと聞いて思い浮かべる状態が、実はまだまだ多様とは言えない状況であると再認識した人も多いと思います。また、「長く続く仲間とは？」との問いかけに対し、本音を一度でもぶつけ合った人同士の特権！とのやりとりで背中を押されたのか、帰り際に翌週以降の再会を約束する姿が随所で見られました。

まさにその行動が肝！ 異業種交流は自主的な分科会に発展したときに初めて価値を持つ。我々人財アジア社員にとって、心から嬉しい光景でありました。今後も新しいメンバーをどんどん加えて意義のある異業種交流会を続けていきます！